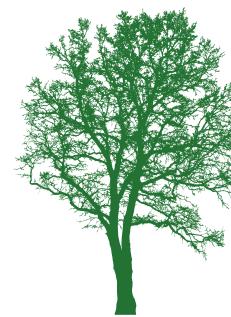


若葉研修会②

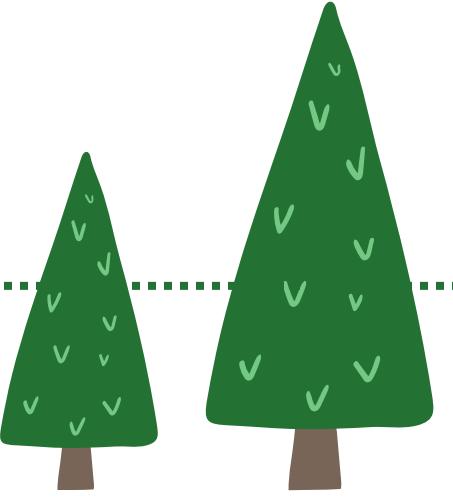


# 一人一人に力が付く 子どもに委ねる学びの授業

R6.6.10 加賀市立庄小学校



# 授業を創る上で大切にしていること



01

学ぶ意義を共有

02

児童と学び方の共有

03

各教科の資質・能力

04

単元構想の工夫

05

授業づくり



# なぜ、子どもに委ねる学びが必要 なのだろう？

01

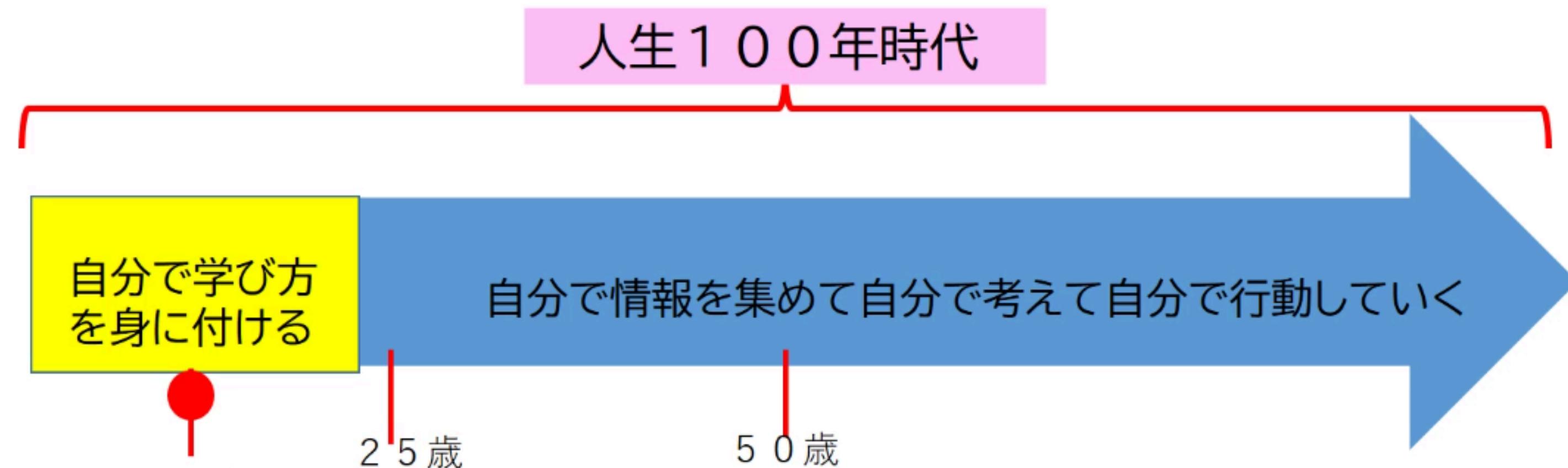


01

## 学ぶ意義を共有

自分の人生は  
自分で成功させる

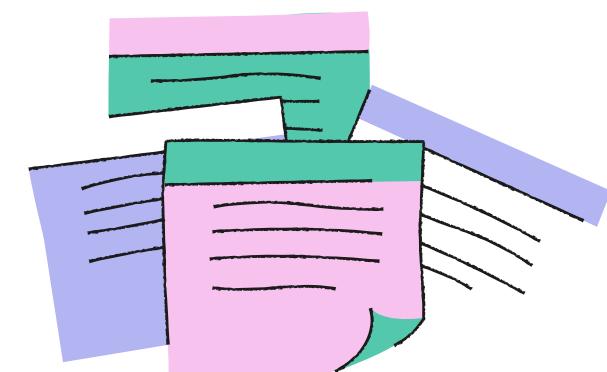
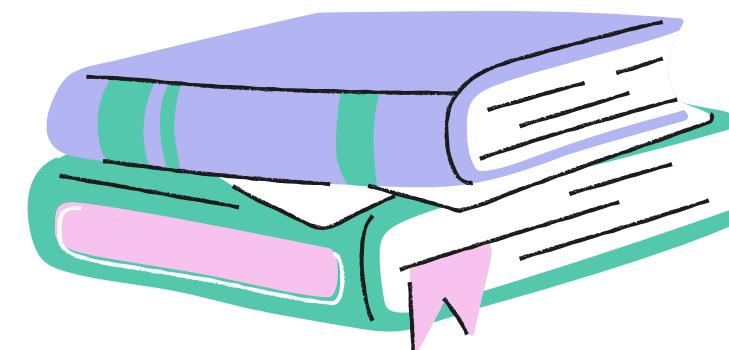
個別最適な学び・協働的な学びをする必要性



01

## 学ぶ意義を共有

これからは他者と協働しながら、人生を切り開く



### 一緒に仕事する仲間

これまで、身内で

今、これからは、コラボして新しいステージへ  
足りないところは他と協力

### 思考と発想

これまで、欧米についていこう！たくさん作  
ってガンガン！

今、これからは、正解なし。新しい価値。

### 求められる力

これまで、読み書き計算。確実性。

今、これからは、ゼロからイチを生み出す。  
問題発見力、課題解決力

02

## 児童と学び方の共有

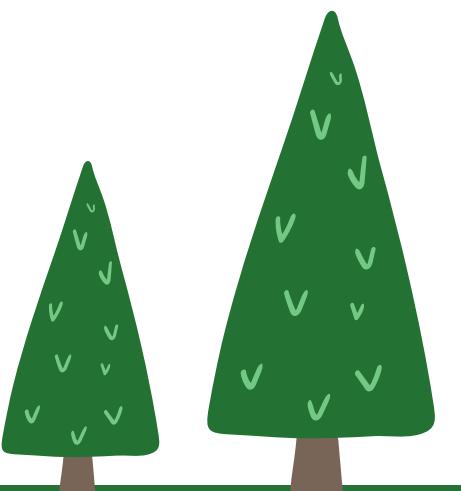


02

## 児童等学び方を共有

### 学びの姿を掲示

どのように学ぶか  
何を学んだか  
学びのよさを実感させる。



# 03

## 各教科の資質・能力



# 03

## 各教科の資質・能力

**B 図形**

**B(1) 平面図形の性質**

(1) 平面図形に関する数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 図形の形や大きさが決まる要素について理解することとともに、図形の合同について理解すること。

(イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。

(ウ) 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。

(エ) 円周率の意味について理解し、それを用いること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明すること。

(内容の取り扱い)

(2) 内容の「B 図形」の(1)については、平面を合同な図形で敷き詰めるなどの操作的な活動を重視するよう配慮するものとする。

(3) 内容の「B 図形」の(1)のアの(エ)については、円周率は 3.14 を用いるものとする。

第4学年では、四角形を構成する要素である辺どうしの平行、垂直といった位置関係に加えて、構成する要素どうしの相等関係を基に分類し、平行四辺形、ひし形、台形について学習してきた。また、例えば正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ图形ができることを経験している。

第5学年では、图形を構成する要素及び图形間の関係に着目して、图形の構成の仕方を考えたり、图形の性質について更に考察したりすることをねらいとしている。图形の合同については、图形間の関係に着目し、与えられた图形と合同な图形をいかに構成すればよいかを考察する。多角形については、图形を構成する辺や角などの要素に着目して图形を弁別する。正多角形や円については、图形を構成する要素、並びに、图形を構成する要素の関係に着目することで、图形の性質を考察する。具体的には、円では直径と円周の長さに着目する。そして、見いだした性質について、筋道を立てて考え説明できるようにする。

图形の合同や多角形の角についての性質は、中学校第2学年において更に深めて学習することになる。

ア 知識及び技能

(ア) 図形の形や大きさが決まる要素と图形の合同

三角形など簡単な平面图形について、「图形が「決まる」という意味を理解し、合同な图形を能率的にかくことができるようになる。图形が決まることについては、ふつう、目的とする图形と合同な图形ができることを指している。

指導要領解説などを参考にして、教材研究



つけたい力を明確に



ゴールの児童の姿

# 単元構想の工夫



# 04

## 単元構想の工夫

自由進度と一斉授業、それぞれのよさ  
グラデーションの中で授業を作る。

自由進度  
自律的学び  
自己調整力

一斉授業  
考え方を練り上げる  
問題発見  
課題意識

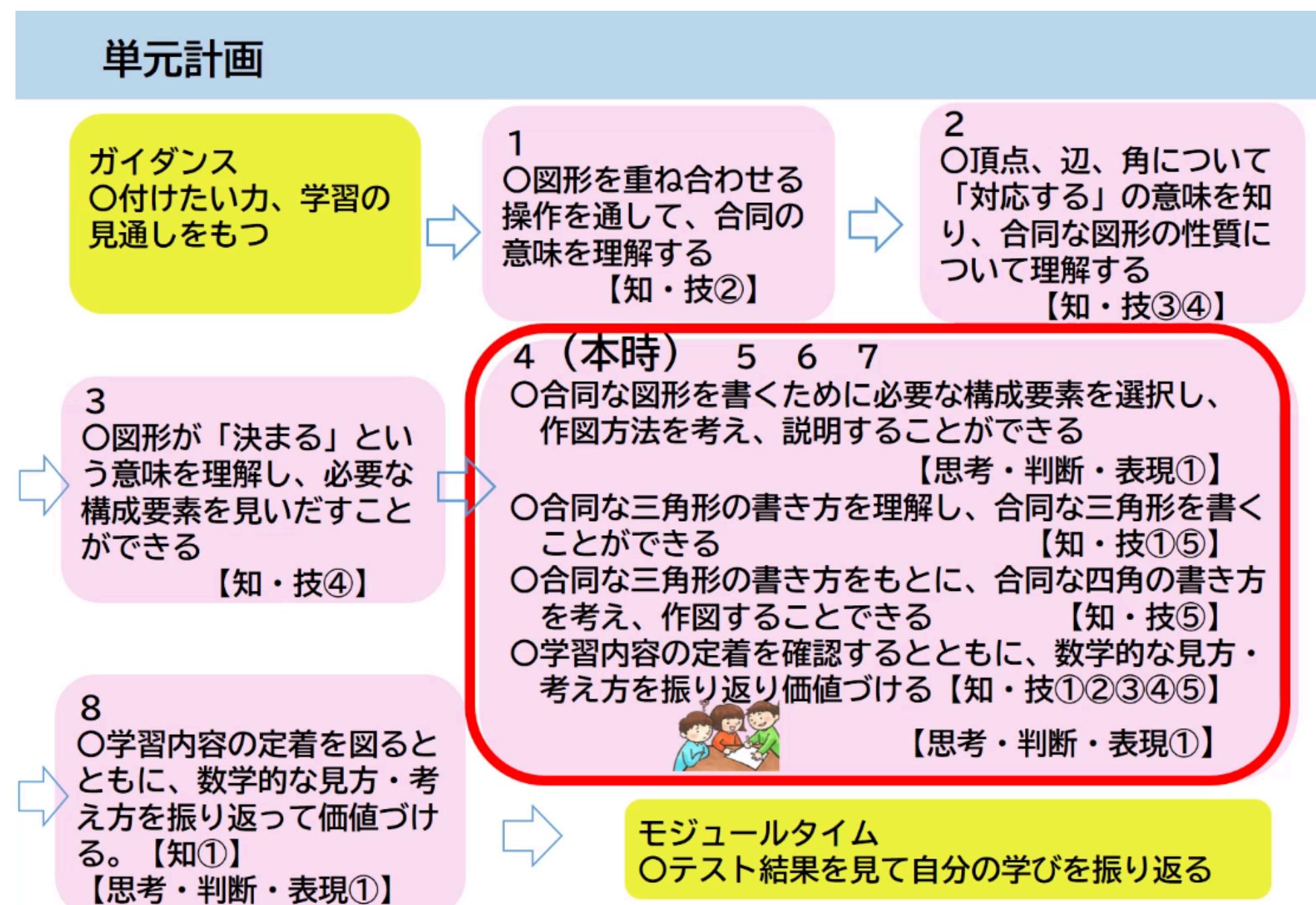
# 04

## 単元構想の工夫

教師が「教えてやらなくては」から脱却！

単元の中でどの時間を子供に委ねる場面にすると、子どもの資質・能力の育成につながるかを吟味して、設定することが大切。

5年生「合同な图形」では、子どもたちが既習を使って  
「じっくり考えたいところ・自分たち  
ができるよ」  
というところを委ねてみました。



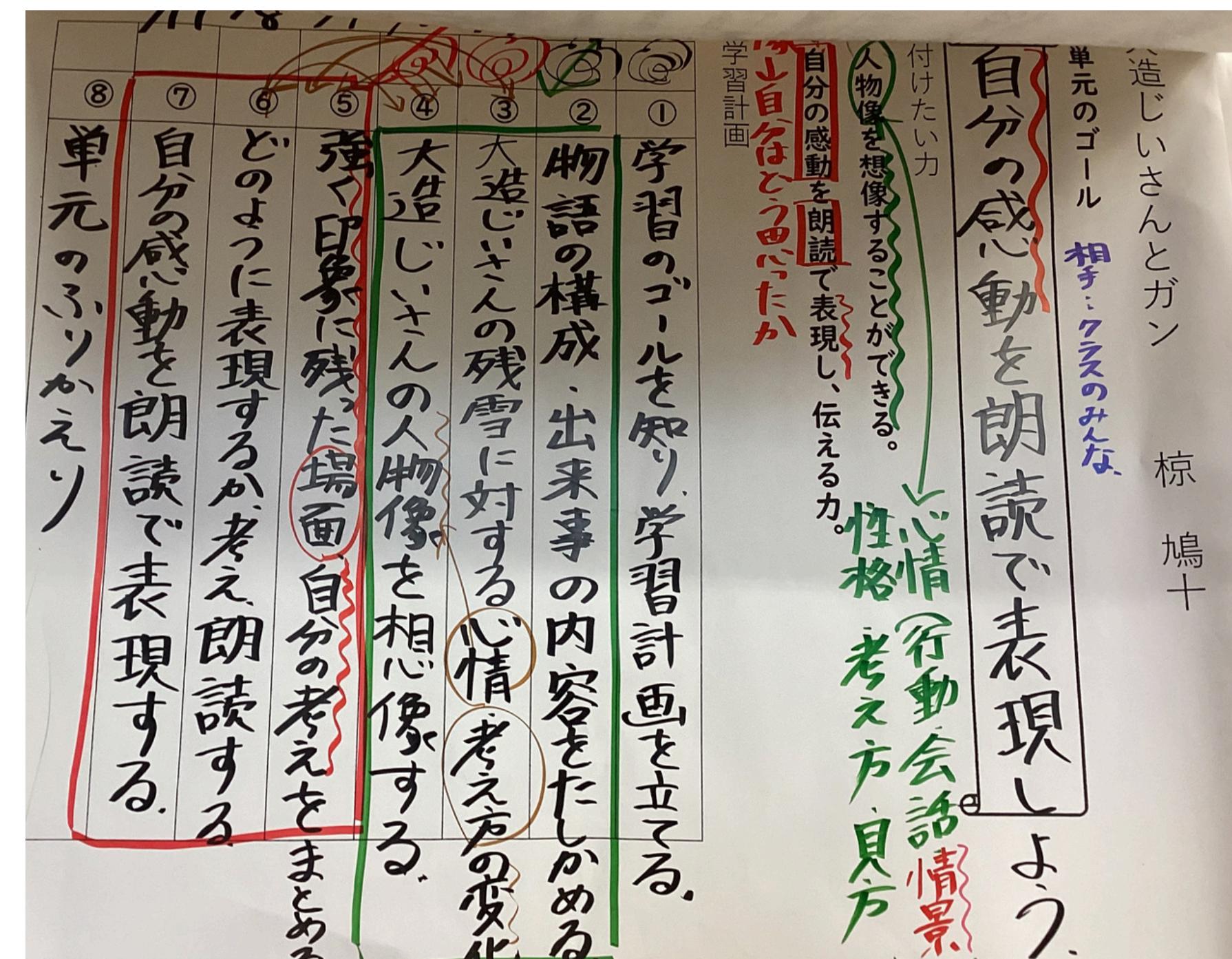
04

# 单元構想の工夫

単元の中でどの時間を子供に委ねる場面にすると、子どもの資質・能力の育成につながるかを吟味して、設定することが大切。

5年生「大造じいさんとがん」では、  
つけたい力を児童と共有し、ゴールを  
確認。

「どこを自分のペースで学びたい？」と問う、学習計画を児童と一緒に立てるこども。



# 授業づくり



05

05

## 授業づくり

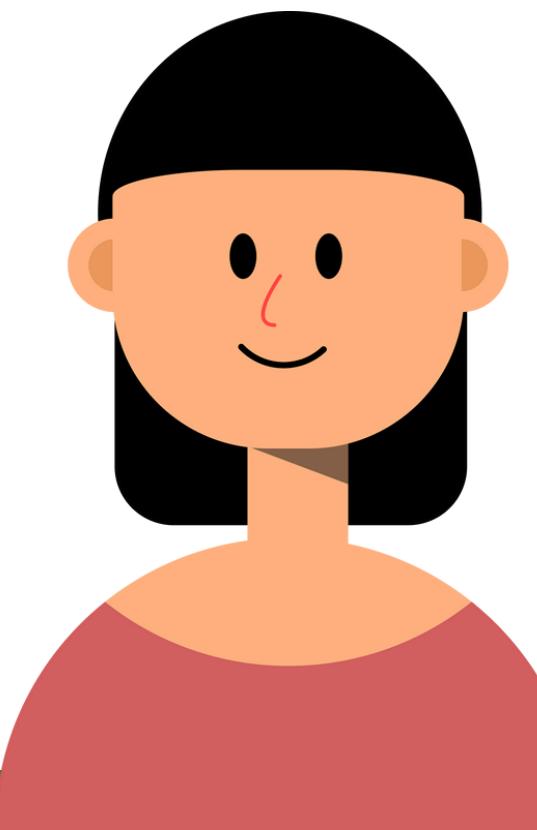
意識転換「教師がどう教えるか→子供がどう学ぶか」

つけたい力と  
ゴールの姿  
ゴールに向かう見  
通し

子供に委ねる時間  
の吟味

協働の相手、時  
間、C→Bの手立て  
を判断・選択  
(目的に応じた  
ICT活用)

ふりかえりの充実



# 05

## 授業づくり

2軸のねらいを達成するためには、児童の実態に合わせて、どこを委ねるとよいか

(例) 前時の振り返り・めあて・学習の見通し

前時の振り返り・めあて・学習の見通し  
自力解決・全体解決・まとめ

ここで充実！  
必須課題解決に向けて  
協働相手・時間・ヒント・資料  
を判断・選択

ここで充実！  
適用題  
必須問題  
選択問題  
教師の見取り

まとめ・ふりかえり

ふりかえり

## 4~5時間目の学習の流れ

- ①合同な三角形のかきかたを自由に考える
  - ②見通しを基に、合同な三角形を書く
  - ③合同な図形か確かめる  
(使った辺や角に色を付けて、オクリンクに送る)
  - ④書き方は3つある
- 
- ⑤書き方の共通点を見付ける
  - ⑥まとめる
  - ⑦チェック問題
  - ⑧練習問題に取り組む

時間をかけずにさくっと！

何をどのように進めていくか  
何ができるのが今日のゴールか  
時間の見通し

委ねるからこそ、ここを充実させる。

### 3. 子どもに委ねる場面

協働の相手やタイミング  
端末のタイミング

子ども自身が判断・選択

インプット、アウトプットを繰り返す

(例) **個**考えてみよう→**協働**みんなの考えを聞きたい→**個**もう一度考えよう  
**協働**あの子に相談すればわかりそう→**個**自分でやってみよう→**協働**他の考えも  
知りたい

※ 教師は学習状況を見取り、声かけ、支援する。

#### ICT の活用

- 既習の内容
- 学習の進め方
- 資料や動画
- 考え方の共有



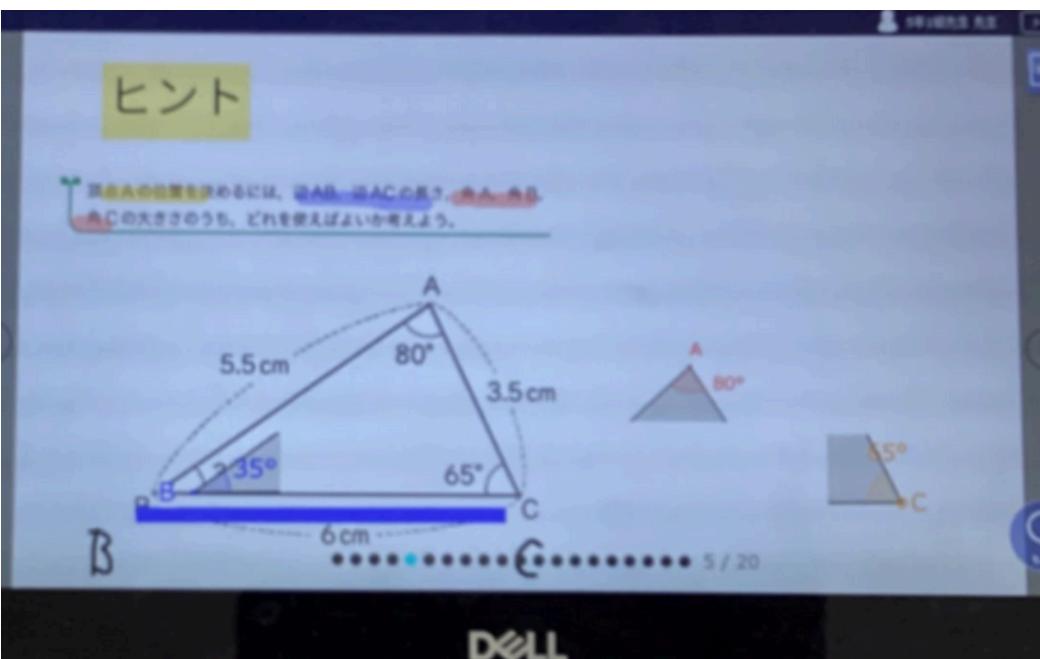
**C→B**  
確実に力がつくよ  
うな手立て。

友

# 05

## 授業づくり

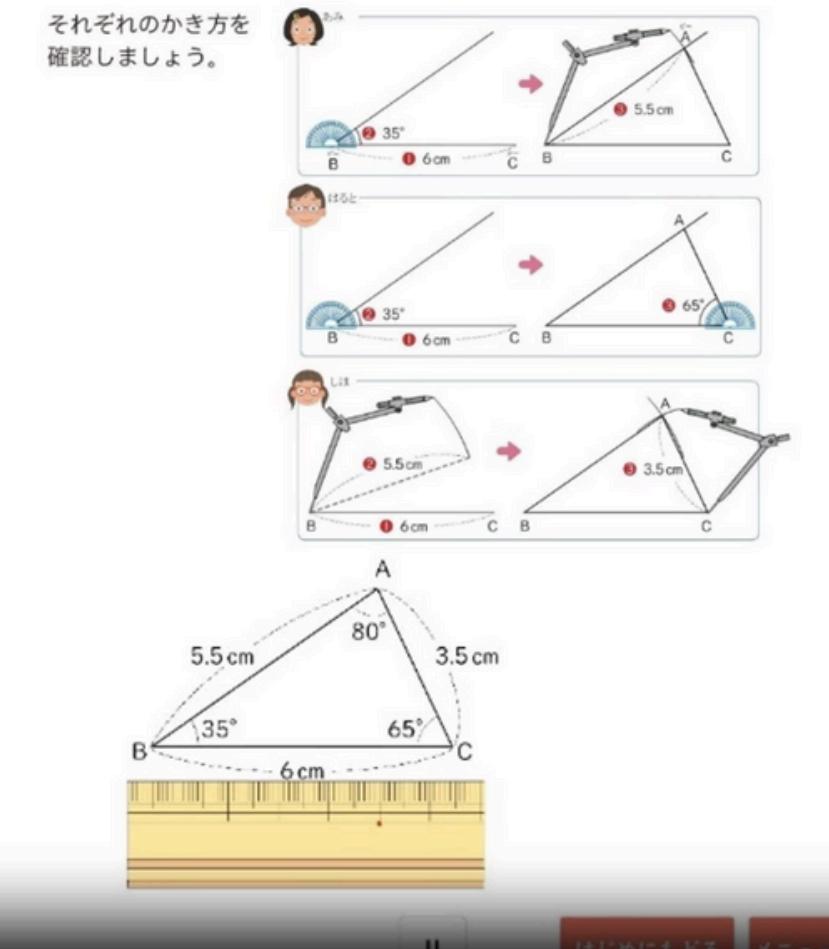
めあてを全員が達成できるように  
ヒントカード



著作権について

- 21 ページ かきこむ・動かす 体積の求め方を考えよう ! やってみよう
- 33 ページ 動かす 体積の変わり方調べよう ! やってみよう
- 46 ページ 練習する 小数のかけ算を練習しよう ! やってみよう
- 58 ページ 練習する 小数のわり算を練習しよう ! やってみよう
- 78 ページ 見る 合同な三角形のかき方を確認しよう ▶ 見る
- 87 ページ かきこむ・動かす 四角形の角の大きさの和を求めよう ! やってみよう
- 126 ページ プログラミングを体験する 倍数や公倍数を求めよう ! やってみよう
- 127 ページ 動かす かたちであそぼう(パターンブロック) ! やってみよう

## デジタルコンテンツ



具体物



05

## 授業づくり

めあてを全員が達成できるように



教師の作った解説動画

自分のタイミングで繰り返し何度も

子供自身が作成する解説動画  
納得できるまで繰り返し何度も



05

# 実際の授業（子に委ねる）

個



具体的物を使って考える姿  
その様子を眺める姿

必要なタイミングで友達と相  
談し、その一人で考える。



2通りのかき方がわ  
かり、あと1通りを  
協働で考える姿



協

05

# 実際の授業の様子

自分で問題の順や解決方法、場所などを選択し、  
自分のペースで学習を進める。



必須問題から取り組む子

先生にフィードバックをもらう子

選択問題の空いているところを見つけて取り組む子

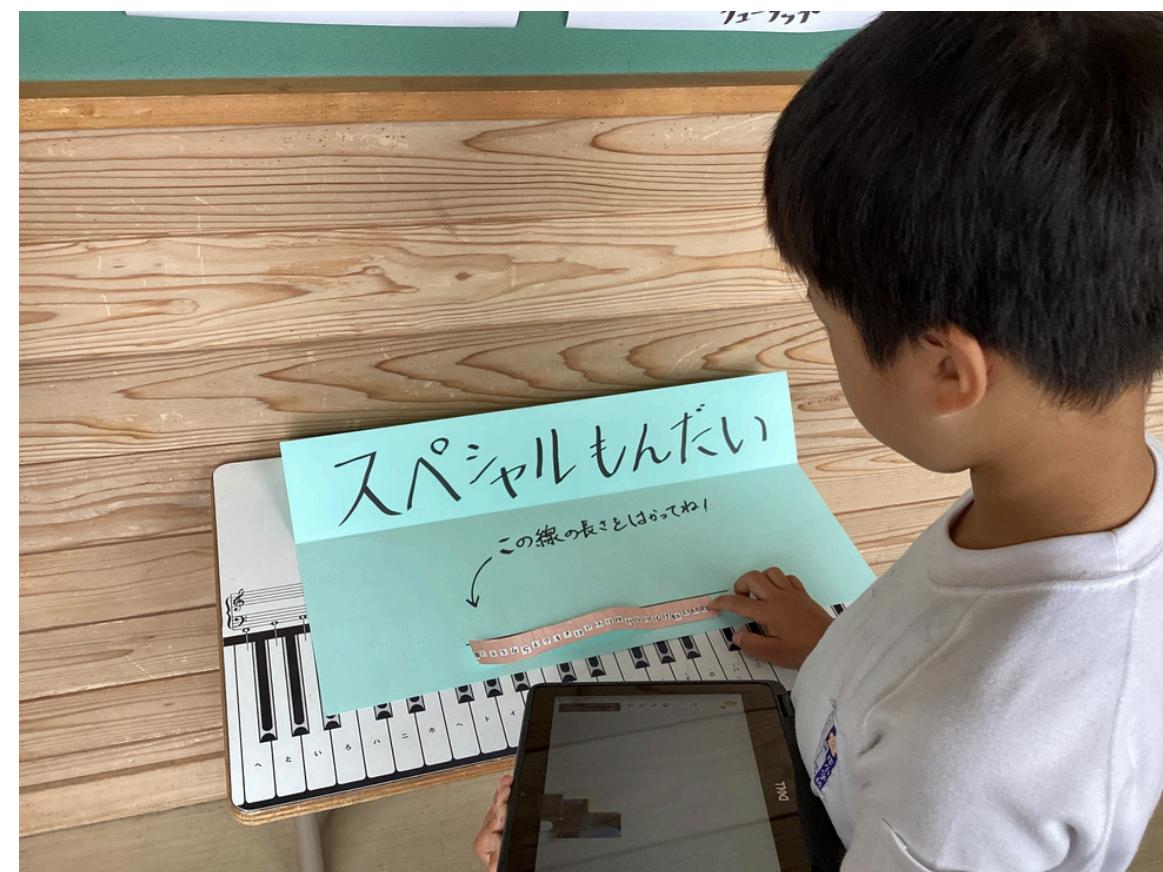
05

# 実際の授業の様子

学習が苦手な子も  
楽しみながら学習



得意な子は、スペシャル  
問題を楽しむ！

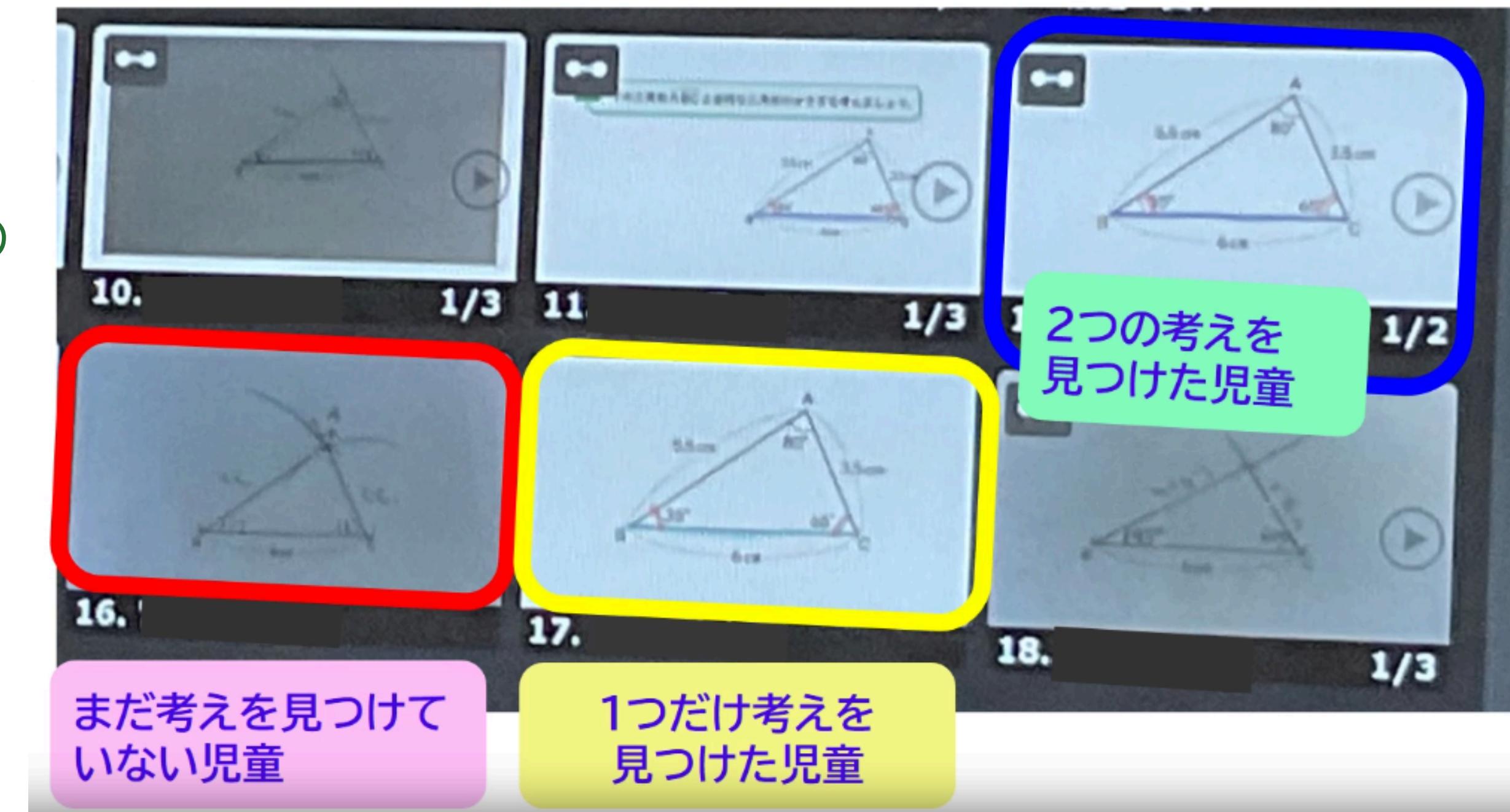


# 05

## 授業づくり

めあてを全員が達成できるように

オクリンクで学びの  
共有  
→教師の見取り  
→協働の相手を  
判断・選択



## 教師の見取りは重要

チェック問題

「どうしてこうなったの？」  
「ばっちり！」

直接やり取りする場面も



## 教師の出場

- ・多くの条件を使っている児童
- ・一つにやり方で満足している児童
- ・やり方が分からなくて困っている児童



# 05

## 授業づくり

### 振り返りの充実

「学習内容」と「学び方」を振り返る。  
自分の学習を自分の言葉で語る。  
自己調整力を育成するために！

子どもたち自身が自分たちの学習状況を把握し、解決に向けて計画的に、見通しをもって学習を進める力

### 振り返りの充実

### 振り返りの視点

- ① 分かった 考えた 気付いた  
できるようになった
- ② 学び方  
(どんなことに気を付けて学んだか)  
(どんな学び方がよかったです)
- ③ 次に生かす  
(これから、つぎに、もっと)

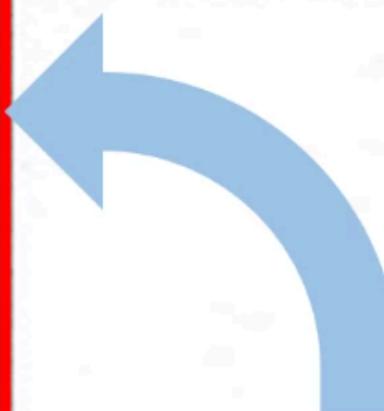
# 05

## 授業づくり

### ふりかえりの充実

- ・見える化 単元を通して 共有

今日の振り返り	先生より
<p>今日は、まず合同な三角形の書き方を考えました。そして書いてみました。書くとちゅうで宗太さんがどんな方法でしているか聞いてきたのでこんな方法でしているよと説明できました。1つかけたら友達に確かめに行きました。そのあともう1つできたけど最後の1つが見つけられませんでした。かんがえてわからなかつたのでできた！という人に聞いてみました。そうすると納得できました。なのでこれからも分からなかつたらてきた人に聞きたいです。</p>	<p>先生より</p> <p>教師からの フィード バック</p> <p>自分が悩んだタイミングで聞きに行ったのが素晴らしい！そして、友達に方法を教えてあげたんだね。アウトプットまでさすが！</p>



学び方で足りない点やよさを  
価値づける。

## いろいろ試してみて…

教師は子どもの自律的な学びを支え、  
確実に各教科の資質・能力が身に付くよう、  
教材の準備、環境づくりをする。

- ①深い教材研究
- ②児童理解
- ③めあてを明確に持つ
- ④目的をしっかり持たせる
- ⑤見取り→評価



最後に

## いろいろ試してみて…

適切な環境さえ作れば、  
子供は学べる。  
子供を優れた学び手と信じ、  
覚悟をもって委ねてみる。



確かに準備は大変・・・  
でもそれ以上の幸せがあります

子供も教師も

BE THE PLAYER

THANK YOU!

ありがとうございました